科名 外科 外-56(a)
 対象疾患 大腸癌(治癒切除不能な進行・再発結腸・直腸癌)
 プロトコール名 BEV+XELOX

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	14	...	21
1	点滴注	メイン	生理食塩水	500mL	ラインキープ 残破棄可	↓				
2	点滴注	側管	グラニセトンバッグ デキサート注 ガモファー注 ネオレスタール注	1mg 9.9mg 20mg 10mg	30分かけて	↓				
3	点滴注	側管	又は パロノセトンバッグ デキサート ガモファー注 ネオレスタール	0.75mg 9.9mg 20mg 10mg	30分かけて					
4	点滴注	側管	ベバシズマブ注 生理食塩水	7.5mg/kg 100mL	医師の指示 通り	↓				
5	点滴注	側管	オキサリプラチン注 5%ブドウ糖液	130mg/m ² 250mL or 500mL	2時間かけて ルートごと変更	↓				

内服 ゼロダ 1回1000mg/m²を1日2回 d1~d14投与、d15~d21は休薬

★1クール=21日

~MEMO~

催吐レベル3(30%以上90%未満)

day2~4にデカドロン1回4mgを1日2回朝、昼食後に内服。(8mg/day)

- ・ オキサリプラチンは必ず5%ブドウ糖液で希釈。(薬効がおちる。)
- ・ オキサリプラチンのアレルギー反応は他の薬剤と出現形態が違うので注意する。(現在は4~16クール目、投与30分経過後に出現することが多いと報告されている。2007.10)
- ・ デキサートは6.6、9.9、13.2、19.8mgで選択可。
- ・ ベバシズマブは生食で希釈。(薬効が落ちる)
- ・ ベバシズマブは初回90分で点滴静注、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目は60分で行ってよい。2回目の忍容性も良好であれば、以降30分投与もできる。

大きな手術(開腹手術等)後28日以内には投与しないこと。